

様

大震災の被災者救援と被災地復興にご尽力のことと拝察いたします。

さて、当研究委員会は、この度の大震災について、別添の声明を発信しました。この声明は、当委員会の研究成果の一部であり、この大震災で明らかとなったこれまでの国づくりの問題点と、新たな国づくりのあり方に関する、見解と提案です。ぜひご一読いただき、被災者救済、被災地復興、これからの国づくり等にご活用いただければ幸甚の極みです。

なお、当研究委員会は、2009年に日本科学者会議が「科学者の社会的責務」を果たすために付置した研究委員会です。

当研究委員会の目的は、人類が戦争と暴力、圧政と差別、貧困と格差、地域生態系と地球生態系の破壊、地震と津波や異常気象による災害等に直面するなかで、21世紀における日本と世界のあり方を設計論の立場で解明し、広く世に問うことです。

当研究委員会は、21世紀に実現すべき人類の目標、目標を実現するための社会の原則と枠組み、その素描、それを実現する原動力、行程表、理論的基礎等を明示し、それを出版や電子媒体で発信することを目標としております。

以上

2011年3月30日 21世紀社会論研究委員会

伊藤宏之：福島大学特任教授 政治学（政治思想史）

北村 実：早稲田大学名誉教授 哲学（社会思想史）

塩谷 光：東京工科大学名誉教授 信頼性工学、通信工学

宗川吉汪：京都工芸繊維大学名誉教授 生命科学

鶴田満彦：中央大学名誉教授 経済学

○松川康夫：元中央水産研究所研究室長 海洋学

（○印は委員長）